

香りも楽しめる現代の日本庭園

～住宅街・日本庭園・多摩川をつなぐ香りの道～

平成26年度 第9回「みどり香るまちづくり」企画コンテスト
(環境省主催)において、かおり環境協会賞

申請団体: セントスケープ・デザインスタジオ+高崎設計室
共同企画団体: 世田谷区役所みどりのみず政策担当部公園緑地課玉川公園管理事務所
株式会社自然教育研究センター
計画地: 世田谷区立二子玉川公園内「帰真園」およびその周辺エリア



東京の西の玄関に位置する二子玉川は、小さい子供からご年配の方まで多くの家族連れが集う、東京の未来を担うエリアである。2013年春の開園以来、市民の憩いの場として定着しつつある帰真園に、香りの日本庭園というユニークな彩りを加えて、四季折々の風景の美しさ、楽しさを五感で感じてもらえる場所にしようという計画である。「香り」をきっかけとした新しい東京の名所として、老若男女国内から訪れる方にも海外からのビジターにも、ユニバーサルに、日本文化の伝統や暮らしにひそむ美しさ・楽しさ・豊かさを発信できる場としていきたい。

ポイントA 香りも楽しめる日本庭園

日本庭園という場にふさわしい「香り」の風景を作りだせるように、日本に自生するもの、古典文学に登場する、古来より親しまれている香りの植物たちを中心に活用する。香りをきっかけとして、古の日本庭園に遊ぶ大和人たちのようすを時を超えて想像してもらえるような空間を創出する。

ポイントB 香りをつなぐ防災の道

現代の都市部に作られた日本庭園、という独自性で存在感を示す帰真園。駅二階から庭園までつながる遊歩道は、連続した藤棚で誘導される。遊歩道の終点正面にあるビジターセンター周辺から庭園入口、そして庭園の外周部に沿って「フジ」を象徴的に配置することで、フジ(藤・富士)をきっかけとした街への連続性を生み出す。また、駅から庭園外周部へと続く歩道は、近隣住民の災害時の避難経路にも指定されており、日ごろから散歩をしたくなるような場所を作ることで、緊急時の冷静な対応を促せるものとする。

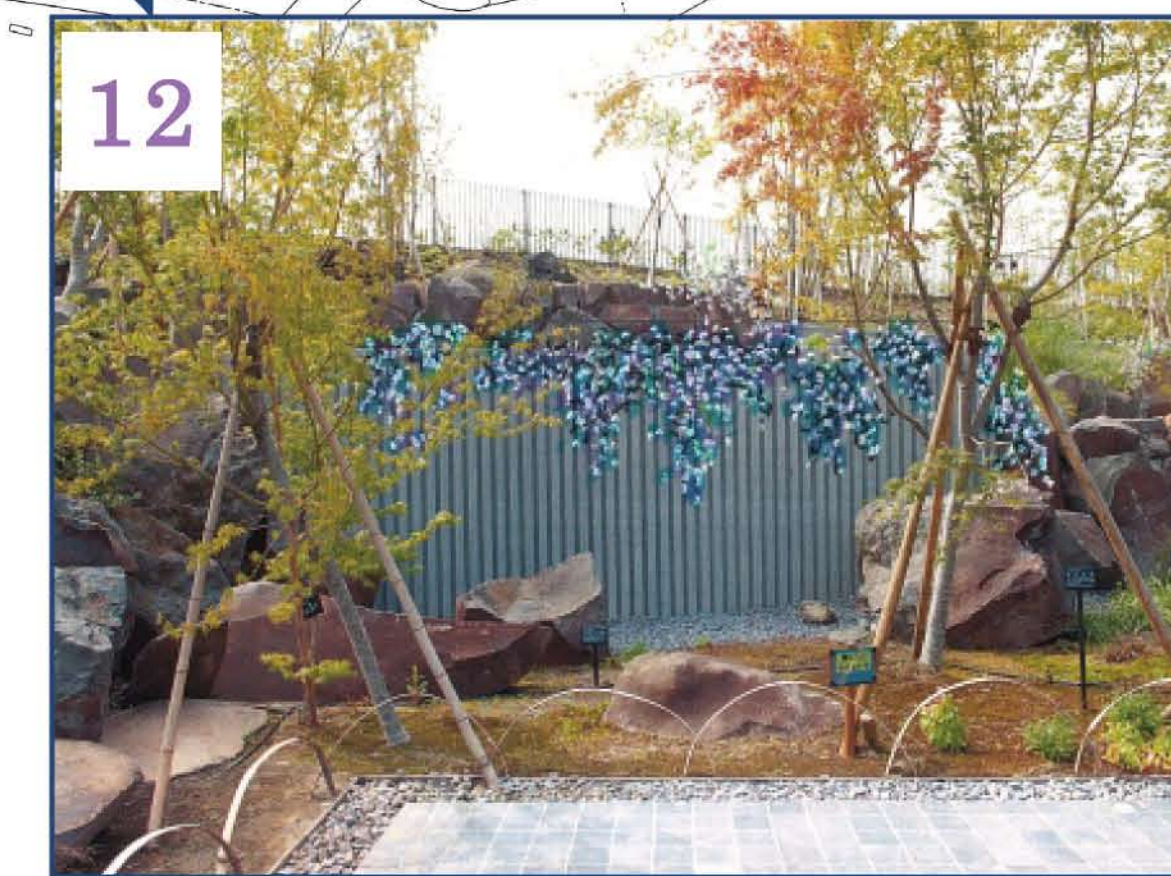
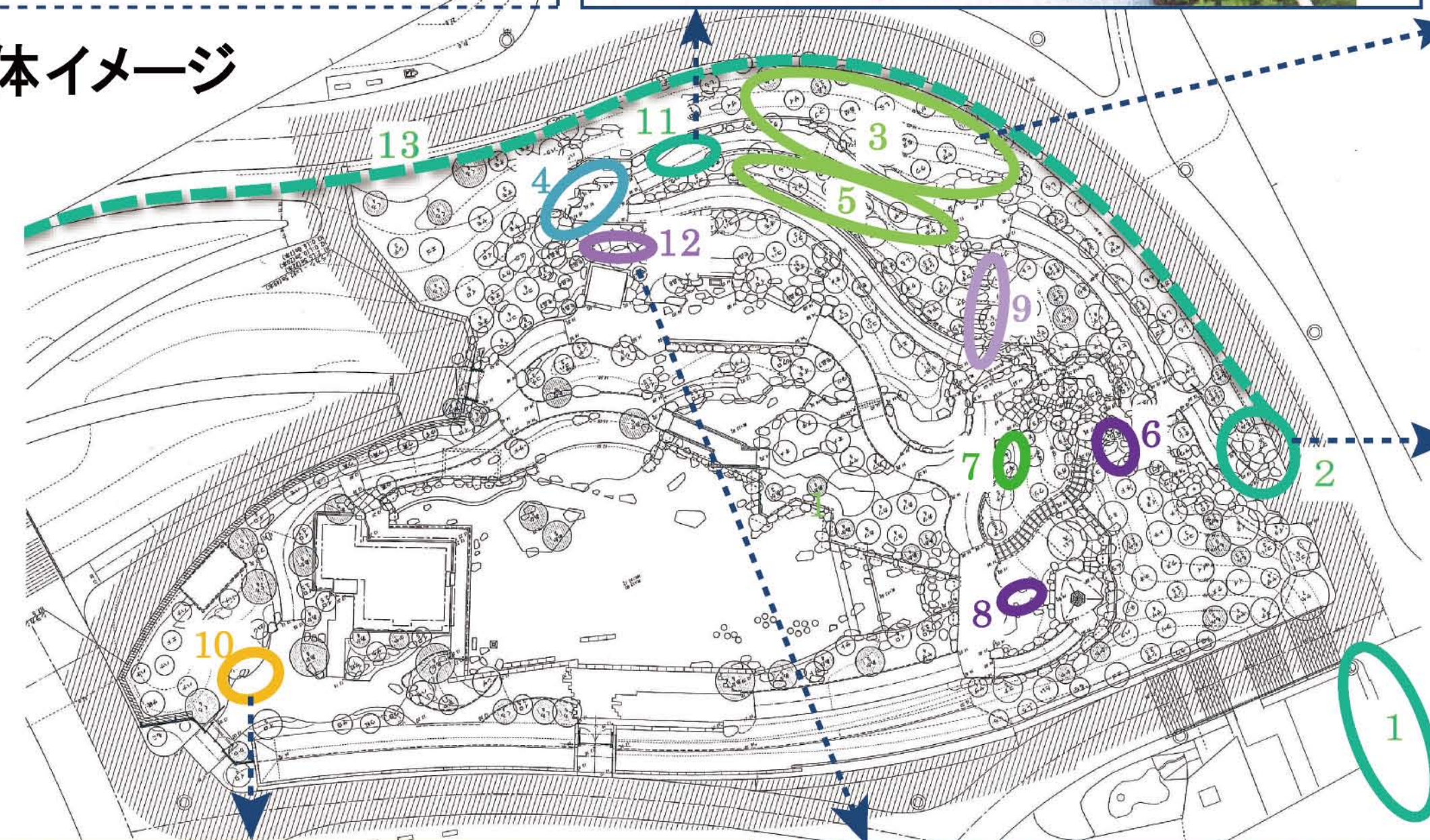
ポイントC 地域に愛される日本庭園

日本の文化に根差した香りの植物の面白さを体験してもらいイベントなどを、公園ビジターセンターと共同で企画するなど、場を活かした楽しい五感の学びの場としての活用も展開していく。2020年の東京オリンピックを視野に入れ、海外からの観光客も呼び込んで、日本文化発信の一拠点としていきたい。

- 【植栽予定場所】
1. 公園ビジターセンター前
 2. 駅に最も近い帰真園入口「玉川口」
 3. ゆるい坂道「おもいはせの道」付近
 4. レイズドベッド「万人花筵」周辺
 5. ゆるい坂道「おもいはせの道」付近
 6. 庭園全体を眺める園路の分岐点周辺
 7. ベンチ周辺の足元
 8. 東屋「時雨亭」前庭
 9. 根府川石の階段「二子坂」の両側
 10. 桃林
 11. 「おもいはせの道」の擁壁沿い
 12. 屋外の茶席「万人席」奥の擁壁沿い
 13. 帰真園外周の園路沿い



全体イメージ



香りのテーマ

日本庭園という場にふさわしい、和的な「香り風景」を作り出すために、日本に自生するものや古典文学に登場する、古来より日本文化の中で親しまれている香りの植物を中心に活用する。花色は「白」をテーマとして、清楚な気品を感じるような、落ち着いた趣きのある風景を創りだす。フジも一般に多くみかける紫フジよりも少しふっくらとボリューム感のある香りを漂わせる白花のものを中心として、見た目も香りも特徴的な風景をつくる。



使用する香りの草花と香りを楽しめる時期

植栽の方針: 香りのよい植物として、花だけでなく、葉や茎などからよい香りがする植物を、足元のグラウンドカバー的に用いることで、一年中、散歩途中でふと足に触れた時などに、ふわっと立ちあがる香りを楽しむことができる。既存のカツラやクロモジ、クチナシ、なども活用しながら、区民が参加できる「香りのガイドウォーク」などの企画も考えられる。

| 植物名 | 植栽場所 | 本数/株数 | 香る部位 | 1月 | 2月 | 3月 | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 |
|------------|-----------|-------|------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|
| フジ(白) | 1,2,11,13 | 24 | 花 | | | | | | | | | | | | |
| フジ(紫) | 12 | 2 | 花 | | | | | | | | | | | | |
| ニホンズイセン(白) | 3 | 2000 | 花 | | | | | | | | | | | | |
| ササユリ | 5 | 350 | 花 | | | | | | | | | | | | |
| ササユリ | 5 | 210 | 花 | | | | | | | | | | | | |
| ドイツスズラン | 4 | 700 | 花 | | | | | | | | | | | | |
| イブキジャコウソウ | 9 | 1500 | 全草 | | | | | | | | | | | | |
| リュウノウギク | 7 | 200 | 茎・葉 | | | | | | | | | | | | |
| ニオイタチツボスミレ | 6,8 | 350 | 花 | | | | | | | | | | | | |
| リンギク(秋咲) | 10 | 110 | 花 | | | | | | | | | | | | |

引用写真: 『朝日園芸百科』朝日新聞社 (ササユリ、ササユリ、ドイツスズラン、リンギク) 『日本の野草』山と溪谷社 (イブキジャコウソウ、リュウノウギク、ニオイタチツボスミレ)